第４章

目指す将来像

TOYOHASHI

豊橋市都市交通計画 2026-2035

第４章　目指す将来像

本計画では、以下に示す観点から、基本理念を定めます。

【基本理念の設定方針】

・本計画は、上位計画と連携・整合を図りながら、持続可能な集約型都市構造への転換を引き続き目指すこととし、豊橋市都市交通計画2016-2025の基本理念を受け継ぐことを基本とします。

・現在、人口減少や少子化・高齢化が進行する中で都市構造に応じた公共交通ネットワークの形成を図り多様な交通手段を誰もが使えるということが必要となります。

・人々の外出が低下する中で、公共交通の利用者の減少や担い手不足の危機に直面しており、都市交通の機能を維持するためには、行政、市民、事業者及び交通事業者の相互協力により過度に自家用車に頼らない意識への転換が必要となります。

・都市拠点や地域拠点等へのアクセスを向上させることで、人とまちがつながりにぎわいの創出や自由に交流できる都市交通体系を目指すことを前面に出した基本理念とします。

基本理念

多様な交通手段によって人とまちがつながり、
過度に自家用車に頼ることなく生活･交流ができる都市交通体系の構築

～基本理念の考え方～

豊橋市では、持続可能な集約型都市構造を実現するため、過度に自家用車に頼らない社会への転換を促すこととあわせて、多様な交通手段を誰もが使えることで、人とまちがつながり、豊かで快適に生活し自由に交流できる都市交通体系を構築していきます。